



学友だより

碩愛

No. 70

H31.3.26 発行

地域に守られ、支えられ、感謝。



せきでんがくえん かいこう ねん ぶ じしゅうりょうしき
碩田学園が開校して2年。無事修了式を迎えることが

できたのは、ちいき かたがた ささ
地域の方々の支えをいただいているからです。

かんしゃ きもち つた ねんせい じっこういいんかい そしき
感謝の気持ちを伝えようと、6年生が実行委員会を組織し

ねんせい じどうぜんいん さんか かんしゃ つど ひら ちいき
1～6年生の児童全員が参加して、感謝の集いを開き、地域

かたがた めい しゅっせき
の方々70名ほどのご出席をいただきました。

登下校の見守りや読み聞かせ、1年生の昔遊び集会、3年生の3世代座談会などのほか、放課後の算数・国語教室、夏休みのサマーチャレンジなど、各種学習活動へのお力添えもいただきました。また、地域貢献活動や花いっぱい活動にもご協力をいただきました。こうしたたくさんのご支援を賜りましたことに対し、改めまして、深く感謝を申しあげます。本当にありがとうございました。

開校から2年。地域に愛される学校となるよう頑張っています。来年度以降も碩田学園をどうぞよろしくお願ひします。

進級おめでとう

【修了式での式辞】

愛する碩田学園の児童生徒の皆さん。皆さんとともに本日の修了式を無事に迎えられたことを喜びたいと思います。

皆さんが、「自分たちが新設校の歴史と文化の礎を築くのだ」という思いを一つにして、常に「まなぶ」の気持ちをもって頑張る姿をみせてくれたので、私は、今年も校長として、本当にしあわせな気持ちで1年間を過ごすことができました。本当にありがとう。

これからも「ちがいを豊かさに」を合言葉に、知恵と力と心をひとつに合せて、みんながしあわせを感じられる愛のある学校、日本一の学校を目指していきましょう。

【前期課程修了証書授与式での式辞（抜粋）】

愛する碩田学園の6年生の皆さん。昨日の総合練習の機会にもお話しました通り、皆さんは、前期課程修了の大きな節目を迎えたわけです。節目の節といえば、竹を思い浮かべるとかと思ひます。竹は、杉やヒノキのような木とは異なる成長をします。杉やヒノキのような樹木は、1年に1回りずつ太く成長します。理科で「年輪」って勉強しましたよね。一方、竹は節がいくつもあって、その節と節との間が同じようにずんずんと伸びるので、上へ上へとすごいスピードで、どんどんと成長します。



竹と木は育ち方が異なりますが、皆さんは、それぞれの特徴、つまり、竹のような成長のスピードと樹木の年輪のようなぎっしりと充実した中身のどちらも備えた中期最高学年7年生へと成長できると信じています。

お花ボランティアさん！

明日27日（水）13：00に南門に集まって！

新学期に向けて「お花ボランティア活動」をします。きれいなブルーデージー、メネシア、ラベンダーなどの花苗を植えま〜す。夏咲きのひまわりの種まきもします。1時から2時半まで活動します。ぜひ、来てね。



「碩愛」は今号をもちまして、今年度の発行を終了します。

ご愛読いただき、どうもありがとうございました。感謝。

